

# わが

## 「南陽市役所ラーメン課」 公民連携でまちの魅力を発信

総務省が令和5年2月7日に発表した2022年家計調査では、山形市がラーメン消費額日本一を奪還しました。それほどラーメンをこよなく愛する県民で、特に激戦区なのが南陽市です。辛みそ

ラーメンの有名店をはじめ、ラーメン提供店が市内に約60軒あり、各店が個性的なラーメンを提供しているため、必ず好みのラーメンが見つかるのが南陽ラーメンの特徴であり、週末には県内外からラーメン目当てに多くのお客さまが訪れます。昔からこの地域では、来客時に出勤のラーメンでおもてなし



南陽市の辛みそラーメン

をする文化があり、温泉旅館の宿泊客がまちのラーメン店に足を運んでいたという歴史があります。平成26年度、地方版総合戦略策定のために実施した市内中高生対象の意識調査において本市の強みを聞いたところ、「ラーメン」という回答が上位となったことをきっかけに、平成28年7月、全国初となる「南陽市役所ラーメン課プロジェクト」がスタートしました。

### コラボでより盛り上がる ラーメンカードラリー

最初のプロジェクトは、平成29年5月に完成したラーメンマップ製作。地元の東北芸術工科大学と協働で1軒1軒お店の訪問取材を通して、実際のラーメンの味と仕事ぶりに触れ、お店ごとの個性を把握しながら、学生の手書きに

よるイラストのマップができました。平成30年度からは「ラーメンカードラリー2018」が始まりました。当時は市内30店舗の参加で、店舗ごとにデザインされたカード5種類で5カード賞、応募



人気マンガ『ラーメン大好き小泉さん』とコラボした市報



新横浜ラーメン博物館の岩岡社長とコラボ発表

した。平成30年度からは「ラーメンカードラリー2018」が始まりました。当時は市内30店舗の参加で、店舗ごとにデザインされたカード5種類で5カード賞、応募

抽選で豪華景品が当たるWチャンス賞、参加店全てのラーメンを食べてもらえる全店制覇賞を設定。令和元年度の「ラーメンカードラリー2019」では、人気マンガ『ラーメン大好き小泉さん』と初のコラボが実現しました。イベント限定の小泉さんグッズや原作者の鳴見なる先生直筆のサイン入り単行本、プロジェクトオリジナルの景品があり、南陽ラーメンファンと小泉さんのファンが参加



ラーメンをPRするラッピングトラック

し大盛況となりました。  
また、市内運輸会社の提案から、令和2年11月、本市のラーメンをテーマとしたラッピングトラックが完成しました。北は山形から南は首都圏・静岡を駆け回る大型トラックの車体には、小泉さんの描き下ろしイラストが描かれており、目撃された方からはその強烈なインパクトに多くのツイートを寄せられています。お目にかかれた方はラーメン運アップ間違いありません。

今回のカードラリーでも、さまざまなラーメン愛に出会いました。新横浜ラーメン博物館と本市、両方のラーメンカードをゲットした方に贈られる「ラー博賞」を初日にゲットすべく、深夜バスと新幹線を駆使して横浜市と本市を一昼夜かけて奔走した方。東京から家用車を夜通しで運転し、開店すぐに市内ラーメン店をはしごして、最速で「3カード賞」をゲットした方は、2年連続の第1号です。また、宮城県の方は、開始からわずか6日間で参加42店舗の半分の店舗を達成し（ハーフ賞）、18日目には全42店舗を巡り（全店

## ラーメンをきっかけに 深まる地域への愛と魅力

令和4年度、4回目となる「ラーメンカードラリー2022」では、過去最多の市内42店舗が参加し、さらに「新横浜ラーメン博物館」と初のコラボができませんでした。参加者は6割以上が市外を占め、前回比23%増の延べ2万6674人の方に本市のラーメンを食べていただきました。経済波及効果は前回比34%増の約1億3800万円と試算しています。

## プロフィール

制覇賞)、さらにその4日後には新横浜ラーメン博物館のカードを持ち参し、本市と横浜市の参加店全てを達成(完全制覇賞)するとう、三つの賞全て第1号のトリプルクラウンを獲得しました。  
また、南陽ラーメンのおいしさを全国に知らせるため、「南陽市ラーメン大使」を委嘱しており、最近では人気レゲエグループ「湘南乃風」のメンバー HANZUKUN

さん、元バレーボール日本代表の大林素子さんなど、各界で活躍されている方に本市のラーメンをPRしていただいております。  
南陽市役所ラーメン課では、魅力ある地域資源の一つであるラーメンをきっかけとして、より多くの方が本市を訪れ、まちの良さを知っていただき、交流人口の拡大と地域活性化につながることを期待しています。



南陽市長  
白岩孝夫

◆面積 160・52km<sup>2</sup>  
◆人口 2万9811人  
◆世帯数 1万1462世帯  
〔将来都市像〕つながり つどう 縁 結ぶまち 南陽  
〔まちの特徴〕山形県の南部に位置し、交通の利便性に優れた比較的温和な気候であり、誰もが暮らしやすいまち  
〔特産品〕さくらんぼ、りんご、ぶどう、ラ・フランス、ワイン、日本酒、おかし



〔観光〕熊野大社、烏帽子山公園、赤湯温泉「湯こっこ」（公衆浴場）、南陽スカイパーク結城豊太郎記念館、夕鶴の里資料館、双松バラ園、くぐり滝、観光果樹園  
〔イベント〕桜まつり、バラまつり、菊まつり、赤湯温泉ふるさとまつり、北条郷熊野の夏祭り、ワインフェスティバル、スカイフェスティバル

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

# まちの魅力に磨きをかけて 次世代に誇れるまちづくり

千葉県の東部に位置する山武市は、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央、約8kmにわたって太平洋に面し、都心から

くの海水浴やサーフィン、プールの利用客でにぎわう海岸地帯と、肥沃な土壌によって有数の産地でもあるネギや稲作、イチゴ狩りが

## きれいな海を後世に残すため

特急で約1時間、成田国際空港まで車で約30分、圏央道における二つのインターチェンジにより、アクセスを容易にしています。

できる観光イチゴ園のエリアが広がる九十九里平野の田園地帯、優良な材質のサンブスギ林が広がる丘陵地帯で構成され、素朴でありながら、四季折々の変化のある風光明媚な景色が楽しめる、豊かな自然に囲まれたまちです。

本市は、広大な九十九里浜に面しており、市内には5カ所の海水浴場があります。全国でも有名な美しい九十九里浜の自然を守り、次世代に引き継ぐことによって、地域の持続可能な発展を実現する必要があります。

本市では、地域の住民や海の家、漁業関係者、ライフセーバーやビーチクリーンを行うボランティアの方々の協力を得て、平成31年4月に本須賀海水浴場において、国際環境認証「ブルーフラッグ」を県内で初、全国で3カ所目に取得することができました。ブルーフラッグとは、「環境教育活動の実施と関連情報の提供」「水質」「環境マネジメント」「安全と

本市の地勢は、遠浅の海が広がり、多

急激に進む人口減少や超高齢化に伴い、要介護者の増加や介護者の負担増加、医療費および介護費の増加が想定され、実情に応じた介護予防への取り組みが喫緊の課題となっております。このことから、本市と筑波大学との共同研究を開始し、令和3年度から「転倒

## 「生涯元気でご活躍」を応援する地域づくり



甘さも風味もたっぷり詰まった完熟イチゴ



ブルーフラッグを取得した「本須賀海水浴場」

必要があります。

本市では、地域の住民や海の家、漁業関係者、ライフセーバーやビーチクリーンを行うボランティアの方々の協力を得て、平成31年4月に本須賀海水浴場において、国際環境認証「ブルーフラッグ」を県内で初、全国で3カ所目に取得することができました。ブルーフラッグとは、「環境教育活動の実施と関連情報の提供」「水質」「環境マネジメント」「安全と

必要があります。

骨折予防プロジェクト」がスタートしました。

このプロジェクトでは、地域の医療機関や支援センターとの「連動」を重視し、定期的な情報交換を行うことにより、従来接点のなかった事業同士の連携や創発を図っております。

また、月に1回程度、筋肉量や骨の強さ、立ち上がる力、手先の動かしやすさ、歩く速さなど11項目を測定し、生活上の工夫点や、地域とのつながりの再発見を目的とした測定会を実施しております。

さらに、シルバー人材センターや生涯学習を支える図書館と連携し、専門職による体験型講演会な



転倒骨折予防プロジェクトの測定会の様子

ど、楽しみながら健康づくりを高められるような取り組みを通じて、いくつになっても住み慣れた地域で自分らしい現役生活を続けることができる健康づくりを推進してまいります。

### ブランド杉を 次世代へ継承するために

本市では、250年以上前から全国に誇る地域ブランド杉である「サンブスギ」の生産地として、林業が営まれてきました。淡紅色の年輪の詰まった優良な材質であることから、建具材として多く利用されておりました。しかし、近年では「非赤枯性溝腐病」がまん延し、木材の価格低下や林業者の高



良質な材質の「サンブスギ」

齢化、後継者不足により、山の手入れが行き届かず、荒廃しつつあります。

また、令和元年の台風では、強風により多くの倒木が発生し、これまでに経験したことのない長期間にわたる大規模な停電を引き起こしたことから、森林の整備が喫緊の課題となっております。

そのような中、千葉県県の仲介により、都市部の浦安市の森林環境

### プロフィール

- ◆ 面積 146.77km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万9010人
- ◆ 世帯数 2万2641世帯

〔将来都市像〕海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武

〔まちの特徴〕雄大な海、緑豊かな山、古き良き田園風景など四季折々が感じられ、人とまちと自然が共生するまち

〔市町村合併〕平成18年3月27日、成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の3町1村が合併



山武市長  
松下浩明



〔特産品〕イチゴ、ネギ、スイカ、ニンジン、トウモロコシ、梨、柿、栗、ブドウ、リンゴ、米、地酒、サンブスギ木工品など

〔観光〕観光イチゴ園、道の駅オライはすぬま、蓮沼ウォーターガーデン、県立蓮沼海浜公園、長光寺・妙宣寺のしだれ桜など

〔イベント〕山武市サマーカーニバル、さんむS1フェスティバル、エコキャンドルなど

譲与税を本市の森林整備の一部費用に利用し、森林整備によって確保される二酸化炭素吸収量を浦安市に還元する「カーボンオフセット」の取り組みを採用した協定を令和4年3月に締結しました。今後、両市が連携して、森林保全を主とした地球温暖化対策に取り組み、相互の交流を図るとともに、豊かな森林の保全が進むことを目指してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

## 市民の暮らしを守る！ 豊中市の新型コロナウイルス感染症対策

豊中市は、人口40万人を有する中核市として大阪府の北部に位置し、東西・南北に延びる鉄道や高速道路に加え、大阪国際空港が立地する交通の要衝地です。住み、働き、学び、憩う、都市としての機能がバランスよく備わった利便性の高いまちとして発展し、令和3年10月には市制施行85周年を迎えました。

### 感染症から市民の命を守る

本市は、医学的な知見を持つ保健所と中核医療を担う市立病院を有している

強みを生かし、全庁体制の下、医師会などとも連携しながら、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナウイルス）に臨機応変かつスピーディな対応を行いました。

●**全庁応援体制の構築**

感染拡大の初期段階から、患者搬送時の運転業務、健康観察業務などへ全庁から職員を動員しました。

特に、第5波、第6波では、保健所機能を維持するために、保健師などの専門職でなくとも対応できる業務を洗い出し、疫学調査補助やコールセンターなどの業務に、1日当たり約40人の職員を、夜間・休日を含め、連日、動員しました。

また、市立病院で使用する物資が不足する中で、医療従事者が使用する簡易防護服を市職員が手作

りするなど、全庁を挙げて医療現場をサポートしました。

●**医師会・薬剤師会などとの連携**

医師会と協定を締結し、新規陽性者のファーストタッチをわかりつけ医で行う療養支援連携事業を実施しました。これにより、保健所は高齢者や重症化リスクのある方の疫学調査を重点化することができ、必要な方へ必要な支援を届けることが可能となりました。また、ワクチン個別接種においては市内クリニックと連携し、集団接種においては、医師会や薬剤師会などの協力を得て実施しました。さらに、市中感染拡大の防止を図るため、医師会の協力の下、年末年始に重症化リスクの高い高齢者施設へ出張し、ワクチン接種を実施しました。こ



医師会との連携

これらの取り組みが本市の死亡率の低さに寄与しました。

### ●ワクチン接種の促進

市民がスムーズにワクチン接種できるように「ワクチン接種対策チーム」を設置し、マーケティングの手法を応用した、ワクチン接種対象者の行動特性に合わせた複数の接種プログラムを企画しました。

接種率が伸び悩む若年層や勤労世代には、金曜日の夜や土曜日に



緑あふれる千里中央地区（とよなか百景）



接種希望者の下へ出向くワクチンカーと会場の様子



コロナ禍の地域の見守り「あおぞら相談」

● **市内事業者への支援**  
 新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済を再生させるた

た。これらにより、幅広い世代に速やかにワクチン接種希望日時と予約キャンセル枠をマッチングする予約代行システムを稼働させました。これらの取り組みにより、

また、子育て家庭の孤立が進む中で、気軽に相談できる場所として、市内79カ所の公園での地域の見守り「あおぞら相談」を実施するとともに、子育て世帯には、各種生活支援や子どもの応援を目的とした市独自の給付金を支給しました。

● **子ども、保護者への支援**  
 学校休業中には、子どもたちの学びを止めないよう、タブレット端末（LTEモデル）を活用した健康観察、学習課題の送受信、オンライン授業などを行うとともに、子どもの居場所の確保として学童保育を全日開設し、さらに未登録の児童には臨時的に体育館などの学校施設を開放しました。

新型コロナによる市民の暮らしへの影響を最小限に抑えるため、市民ニーズに応じたきめ細やかな施策を実施しました。

## 市民の暮らし・経済を守る

を届けることができました。

め、市内店舗で使用できる紙とデジタルのプレミアム付商品券（総額約88億2000万円）を発行しました。また、キャッシュレス決済ポイント還元事業（最大20%還元、決済総額約49億6000万円）を実施しました。

## 新型コロナウイルスで培った経験やノウハウを生かして

新型コロナウイルス拡大時において、医療分野の専門職が不足した経験から、今後の大規模災害や新たな感

染症などの有事に備えるため、市内在住の医師や看護師などの資格を有する人に医療スタッフとして事前に登録していただく「豊中市健康有事医療スタッフ登録制度」を構築します。

発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備えるのはもちろん、予測できない事態の発生においても、知恵や工夫を絞り、自ら行動できる基礎自治体として、引き続き安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。

## プロフィール

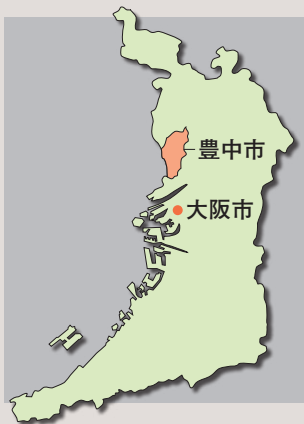
- ◆ 面積 36・6 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 40万7492人
- ◆ 世帯数 19万6383世帯

〔将来都市像〕みらい創造都市とよなか「明日がもっと楽しみなまち」

〔まちの特徴〕交通の利便性が高く、小中一貫教育を推進するなど住宅都市・教育文化都市として発展を続けて



豊中市長  
長内繁樹



- いるまち。SDGs 未来都市
- 〔特産品〕金属加工品
- 〔観光〕千里川土手（飛行機が真下から見える魅力スポット）、高校野球発祥の地記念公園、服部緑地
- 〔イベント〕豊中まつり、音楽月間（まちなかクラシック）、ふれあい緑地フェスティバル、農業祭

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

## 「人がつながらる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」を目指して

未来へつながらる、  
まちづくり

宜野湾市は、沖縄県本島中南部の東シナ海に面し、北には北谷町、東には中城村、北東には北中城村、南東には西原町、南に浦添市と面しています。

那覇市より北に12km、沖縄市より南に6kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号、国道330号、県道宜野湾北中城線、県道34号が通り、沖縄自動車道のインターチェンジへもつなぎが容易な中部および北部を結ぶ交通上の重要な地点に位置し、近年には



本市西海岸地域



南側から撮影した本市西海岸地域

「西海岸道路」が  
開通したことで、  
那覇空港や那覇  
港からのアクセ  
ス性がさらに向  
上しました。  
市の西部（西海  
岸エリア）には、  
県内最大の複合  
MICE施設であ  
る沖縄コンベン  
ションセンターを  
中心に、宜野湾港

マリナーヤトロピカルビーチ、宜野湾海浜公園などの観光資源が集積しています。現在、宜野湾海浜公園屋外劇場については、収容人数を現在の2倍の約8000人規模に拡張する建て替え事業を進め、新屋外劇場にはアーティスト関連の展示を行う陳列館や多目的交流室を整備し、併せて花火やサンセットロケーションを一望する大階段の整備を予定しています。また、周辺には大型リゾートホテルや大型商業施設などが続々とオープンし、その目の前の海では、沖縄ならではのサンゴ礁とカラフルな熱帯魚が多く息する宜野湾の美ら海をお楽しみいただくことができ、県内有数の都市型リゾートエリアとして発展を続けています。  
また、新たな特産品の開発に向



サンゴ礁が広がる宜野湾の美ら海

けた取り組みも行っており、地域資源のさらなる有効活用により、魅力の創出および発信に注力しています。  
今後さらなるイベントの開催や支援を推進するとともに、本市の観光資源の情報発信を行い、より多くの来訪者でにぎわうまちを目指します。  
一方、米軍基地があるがゆえの課題も多くありますが、返還となることを見据え、基地跡地利用計画を策定するなど取り組みを推進しています。

## 世界の人々を魅了する 中心地に

本市の中央部分に位置する「普天間飛行場」は、今後返還が予定されている沖縄県中南部の基地の中央に位置しています。沖縄の玄関口である那覇空港や那覇港から

北部へとつながる「縦貫軸」や、コンベンションやレクリエーション施設を活用したリゾートへ発展を目指す西海岸と東海岸をつなぐ「横断軸」、このクロスポイントとなる普天間飛行場跡地がまちとして発展することで、今まで分断されていた沖縄中南部の100万都市圏が一つにまとまります。さらにこの場所に、世界につながる国際ビジネス・交流拠点と沖縄県の



普天間飛行場 (写真中央部)

新たな発展をリードする基幹産業などの集積地を置けば、普天間飛行場跡地はアジアの交易の中心となり得るでしょう。また、基地内には古い集落跡や史跡、湧水などが残されています。古

代より人々の生活に深く関わってきた地下水脈や、起伏のある地形などの自然、さらに先人たちの歴史や文化を生かした「みどり(歴史・緑・地形・水)の中のまちづくり」を実現し、世界の人々を魅了する沖縄振興の舞台となることを目指しています。

本市北地区に位置する「キャンブ瑞慶覧(西普天間住宅地区跡地)」については、「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と水・緑・文化の調和した住環境がつながるまち」として、琉球大学医学部および大学病院の移設ならびに市民の健康増進につながる取り組みなど、本市総合計画や各種計画に基づき、今後返還される駐留軍用地跡地利用の先行モデル地区にふさわしいまちづくりを進めています。

## 「宜野湾がいちばん!」 と市民が実感できる まちづくり

沖縄県の中中部と南部の接点に位置する本市は、かつて、琉球王国・察度王の時代、琉球の根(ねたて)と呼ばれ、政治・経済・文化の中心でした。今日、発展し続ける西海岸地域をはじめ、開発が進められ

る沖縄健康医療拠点を核とした西普天間住宅地区跡地など、人・物・情報が国際的な次元で出入りする宜野湾は、今なお沖縄県の中核的役割を担う現代の「ねたて」であるといえます。

本市では、「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」を将来都市像に掲げ、分野別に定めた六つの目標を設定しており、実現に当たっては、持続可能な開

## プロフィール

- ◆ 面積 19・8 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 10万221人
- ◆ 世帯数 4万6809世帯

〔将来都市像〕人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾

〔まちの特徴〕沖縄県本島中南部の東シナ海に面し、国道58号をはじめとする多くの道路とのアクセスがあり、交通利便性が高い交通上の重要な地点に位置。現在、西海岸地域において、県内有数の都市型リゾートエリアとして



宜野湾市長  
松川正則

発展を続けている

〔特産品〕大山田いも、琉球紅型、ステンドグラス工芸品、ウコン加工品

〔観光〕普天満宮、大山貝塚、喜友名泉(ちゆんながー)、小禄墓、森の川、嘉数高台、沖縄コンベンションセンター、トロピカルビーチ

〔イベント〕はごろも祭り、産業まつり、琉球海炎祭、青年エイサー、横浜DeNAベイスターズキャンプ



発目標(SDGs)の目指す17の目標と各施策を推進しています。令和2年6月には、本市の人口が10万人に到達し、ますます活力と活気に満ちあふれてきておりますが、市民一人一人が幸せを感じ、宜野湾に住んでよかった「宜野湾がいちばん!」だと実感していただけるよう、「都市(まち)づくり、人づくり、未来づくり」を引き続き進めてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。